



和をもって

第20号

発行
成相山成相寺

京都府宮津市字成相寺339
TEL0772-27-0018
<http://www.nariaiji.jp/>

長閑な陽射しが心地よく、境内の紅葉も少しづつ始まってまいりました。成相寺世話人様皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。お伺い申し上げます。

前回この「和をもって」をお休みさせて頂き一号先延ばしになったのです

が、私が成相寺山主に晋山致しまして丁度十年が過ぎました。これもひとえに皆様方のお力添えの賜と心より御礼申し上げます。ありがとうございます。この原稿を書くにあたり第一号を読み返しておりました。あれから十年、緊張で眠れない日が続いた晋山後の毎日、

私はどれだけのことを成し遂げて来れたろう、出来なかつたことは何だろうと、考えてみますと、殆どが未だ途中で満足に思えることは何一つありません。

晋山の前後には開山千三百年法要という大きな節目を迎え、本尊ご開帳を二度も経験し、五重塔の落慶法会。そして父の葬儀。めまぐるしく大きな波に呑まれたような日々でした。

昨年には成相寺旧境内を含めて境内地が『国史跡』の認定を頂き、古代より続く山岳寺院の重要な遺跡として旧本堂跡等が指定を受けました。

この十年、成相寺を含めこの山で働く人々、近隣の交通網、店舗等。毎年毎年変わってきました。便利になったもの、そうでないもの。無くして悲しいもの、良かつた物。色々な変化がこの十年に起こりました。まさに諸行無常です。

私が成相寺に勤め始めた四十年程前は西国巡礼のピーク時で職員も昼ご飯も食わずに納経御朱印に明け暮れておりました。最近は何年にも比べると減ってはおりますが、やはり忙しいときは休み返上で頑張つて働いてくれて居る姿を見ますと、何世代を経ても変わらない心、観音様へのご奉仕、といった、目に見えないけどいつの時代でも職員

達の心に宿る美しい物に心を打たれます。

又、今年で第十三回目となります『天橋立冬花火』もこの季節の風物詩となり、観光協会や地元の方々御尽力で毎年大盛況です。

これは私の花火好きから始まった行事で、地元の方にも「冬に？」と最初は首をかしげられましたが、澄んだ冬空に上がる花火は格別の美しさです。この後も続くことを願っています。



平成十六年の台風被害で、荒れた山の整備や道の舗装などはほぼ完成しました。ただ、境内地の雨水排水工事、本堂や諸堂の修繕など課題はまだまだ山積みです。これからも若い職員と共に頑張つていきたいと思えます。

次の十年に向けて、決意も新たに精進を重ねて勤めていく所存であります。皆様には何卒宜しくお願ひ申し上げます。

南無観世音菩薩

弘眞 敬白